

医療法人伯鳳会 RE Action

医療・介護の伯鳳会グループが 瞬時デマンド制御装置を導入

～デマンド管理による快適と省エネの両立と再エネ普及を目指して～

伯鳳会グループ（本部所在地：兵庫県赤穂市、理事長：古城資久）が運営し、永年にわたって救急・災害医療に尽力する東京曳舟病院（所在地：東京都墨田区 病院長：山本 保博）において、2023年9月より瞬時デマンド制御装置を導入したことをお知らせいたします。

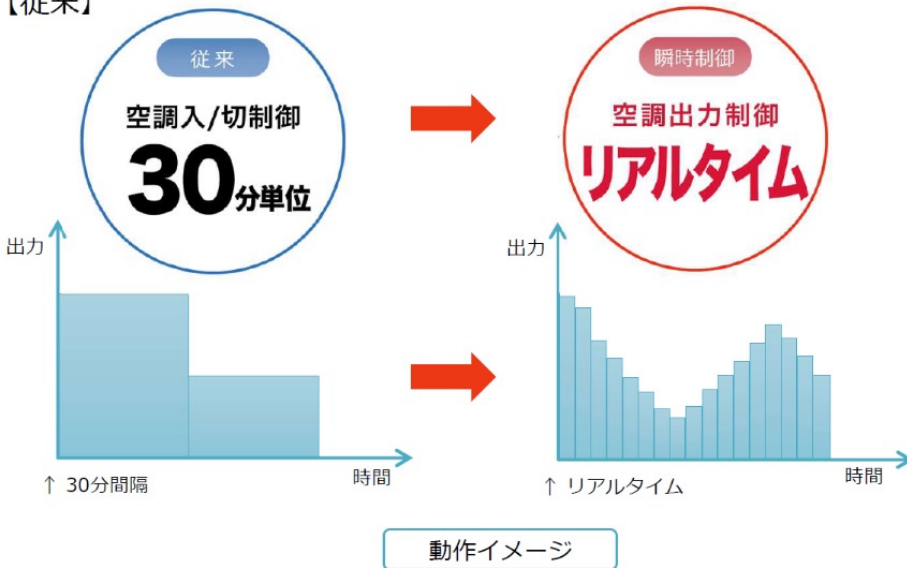
この度導入した瞬時デマンド制御装置は、従来の30分単位で予測するデマンド制御装置とは異なり、空調機を停止させずにリアルタイムの空調制御を行うことで、目標電力値の達成による省エネと快適な環境の両立を可能にします。より細かな自動制御が可能となるため、特に夏と冬のピーク時に効率的な運転を行うことで、電気料金及び電力量の削減に寄与することが期待されます。

密な連携を図る小売電気事業者の株式会社UPDATER（所在地：東京都世田谷区 代表取締役：大石英司）の再生可能エネルギー事業「みんな電力」では、この度の導入に関する省エネ実証を同時に開始します。

伯鳳会グループは、事業活動における電力を100%再エネとすることを目指す「再エネ100宣言 RE Action」に参加しており、この度の導入によって再エネ化への取り組みを更に加速させます。

取り組みの概要

【従来】



瞬時デマンド装置と従来の瞬時制御による動作イメージ（提供：株式会社アイピーフロント）

従来型のデマンド制御装置では、30分単位で電力を監視しており、超過が予測される際には空調機を手動で停止させるなどの対応が必要で、管理担当者にも知識が要求される運用を行なっていました。

今回導入したシステムでは、リアルタイムに空調制御装置で空調圧縮機の負荷を軽減させることで、室内の設定温度を維持しながら、電気使用量を削減することが可能となります。

瞬時デマンド制御装置は単純な構造で、ダイヤルの操作を年に1回行うだけで制御が可能であり、装置導入費用は4年程度で回収する計画です。

本件に関するお問い合わせ

伯鳳会グループ 広報室

TEL : 06-6462-0261 / FAX : 06-6462-0390 メール : y.sakurai@hakuho.or.jp

担当：櫻井 勇介（広報室 室長）

～地球環境に対するフェアトレード～ 「伯鳳会グループ」が描く環境経営のあり方

【再エネ100宣言 RE Actionとは】

国際的枠組みのRE100※1イニシアティブが大企業を対象としているのに対し、自治体や教育・医療機関などの消費電力量10GWh未満の企業等を対象とする「再エネ100宣言 RE Action（アールイー・アクション）」が2019年10月に発足し、伯鳳会グループ（本部所在地：兵庫県赤穂市、理事長：古城資久）は設立当初より参加を表明し、再エネ推進に関する取り組みを進めて参りました。

【伯鳳会グループの環境経営の取り組み】

地球環境という視点において医療・介護は課題が多く、医療安全を目指すための使い捨ての手袋や機材、抗生物質の濫用による生態系への悪影響、頻回な建築物の改修工事など、環境負荷の高い行為であったとしても「患者さんのために」で承認されてしまいます。しかしながら、私どものミッションは医療・介護を通じて国・社会の健康な暮らしに寄与することであり、社会の一員としてより良い地球環境を維持することも同様に目指さなければなりません。

伯鳳会グループでは、2021年度より全体事業所で再生可能マテリアルの採用を強化し、単年で10%以上の使い捨て品目を削減いたしました。更に、業務用車両の電気自動車への段階的な転換や、新規事業所への太陽光パネル・充電設備の整備、蛍光灯のLEDへの転換など、使用するエネルギーについても職員が日常的に意識できる取り組みを進めております。

2023年4月には、コーポレートPPAによる再エネ電力需給を開始しました。

私どもの取り組みによって「再生可能エネルギーを使用するのが当然」という社会的コンセンサスの醸成を後押しし、再エネの供給環境が十分に整備されることを願ってやみません。

～再エネの普及に合わせて使い手から行動を～ デマンド管理が求められる背景

1990年から2000年代にかけて、電力自由化やスマートグリッド化、脱炭素社会に向けた社会の意識変化に呼応する形で、一般家庭においても電力消費量の「見える化」が発展し、デマンドレスポンス（DR）が社会に広がりました。ですが、電力の安定供給のためには「需給バランスを一定に保つこと」が重要であることの認知は十分ではありません。需要に応じるだけの十分な電力を貯めることがまだできないため、リアルタイムに需要と供給のバランスを保つことが非常に重要となります。

2011年の東日本大震災に起因する供給不足で注目されたように、特に夏と冬のピーク時の需要量が極大であることは言うまでもありません。しかし、太陽光や風力などの再生可能エネルギーの供給量が天候など様々な条件によって変動するもので、近年の再エネ導入拡大によってその変動幅（不確実性）が供給網に与える影響が大きくなっています。そのため「再エネを選ぶ」だけで満足せず「どうやって使うか」にも目を向ける必要があります。

電気の使い手である需要家がデマンド管理を積極的に行うことで短時間での消費電力の大きな増減を抑え、調整供給している過剰な発電をも緩和し、最大限に再エネを活用することが可能となるのです。

※1 事業活動における消費電力を100%再エネでまかなうことを目指す国際的なイニシアティブ。2023年2月時点で約80の日本企業が加盟

伯鳳会グループについて

伯鳳会グループは「平等医療、平等介護」を基本理念に、医療法人伯鳳会、社会福祉法人玄武会、社会福祉法人大阪暁明館、社会福祉法人あそか会、医療法人五葉会、医療法人積仁会、有限会社セントラル・メディカルサービスからなる、10の病院と介護老人保健施設、介護老人福祉施設、各種通所施設、身体障害者授産施設、医療専門学校など60を超える事業所を運営しています。

後継者不足や赤字経営で苦境に立たされた病院をM&Aにより短期間で再建しながら事業拡大を継続し、兵庫・大阪・埼玉・東京を拠点に、伯鳳会は初代開業より60周年、大阪暁明館とあそか会は100周年を迎えるなど、永年にわたり地域に根差した活動を展開しております。

先進医療や災害医療にも注力し、再エネ100宣言RE Actionの発足当初より参加。行政と連携しながらCOVID-19対応や社会貢献活動にも精力的に取り組み、地域社会の健康に寄与することを目指します。

法人名 : 医療法人伯鳳会（はくほうかい）
本部所在地 : 〒678-0241 兵庫県赤穂市惣門町52番地の6
TEL : 0791-45-1111
理事長 : 古城資久
ホームページ : <https://www.hakuho.or.jp/>



伯鳳会グループ
HAKUHOKAI GROUP

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

伯鳳会グループは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています

各社紹介

■株式会社UPDATER

本社所在地:東京都世田谷区三軒茶屋2-11-22 サンタワーズセンタービル8F

設立:2011年5月

代表者:大石 英司

事業内容: Climate Tech事業「みんな電力」、Well-being Tech事業「みんなエアー」等

コーポレートサイト:<https://www.updater.co.jp/>

■株式会社アイピーフロント

所在地: 東京都千代田区外神田6-5-12 偕楽ビル新末広4F

代表取締役: 余東

設立: 2005年6月

事業内容: EMSビジネス (OEM・ODM)、電子部品・半導体、IoTソリューション

コーポレートサイト: <https://ipfront.co.jp/ja/info/>

■ニシム電子工業株式会社

所在地: 福岡市博多区美野島1-2-1

代表者: 山科 秀之

設立: 1963年11月1日

事業内容: 電気通信機器、電気工事、電気通信工事、衛生設備、計測機器の開発製造、
情報通信ネットワークシステムを活用した情報配信収集サービスの提供など

コーポレートサイト: <https://www.nishimu.co.jp/about/company-profile>

瞬時デマンド制御装置の導入に関するお問い合わせ

株式会社UPDATER ビジネスSX部: https://minden.co.jp/biz/contact_form

担当: 坂本

東京曳舟病院 概要



医療法人 伯鳳会

東京曳舟病院

TOKYO HIKIFUNE HOSPITAL



病院名 : 東京曳舟病院 (とうきょうひきふねびょういん)
所在地 : 〒131-0032 東京都墨田区東向島2丁目27-1
TEL : 03-5655-1120
FAX : 03-5655-1121
病院長 : 山本 保博
ホームページ : <https://tokyo-hikifune-hp.jp/>



伯鳳会グループ
HAKUHOKAI GROUP

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

伯鳳会グループは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています

本件に関するお問い合わせ

伯鳳会グループ 広報室

TEL : 06-6462-0261 / FAX : 06-6462-0390 メール : y.sakurai@hakuho.or.jp

担当: 櫻井 勇介 (広報室 室長)